

東大阪市立
新博物館
整備基本計画

概要版

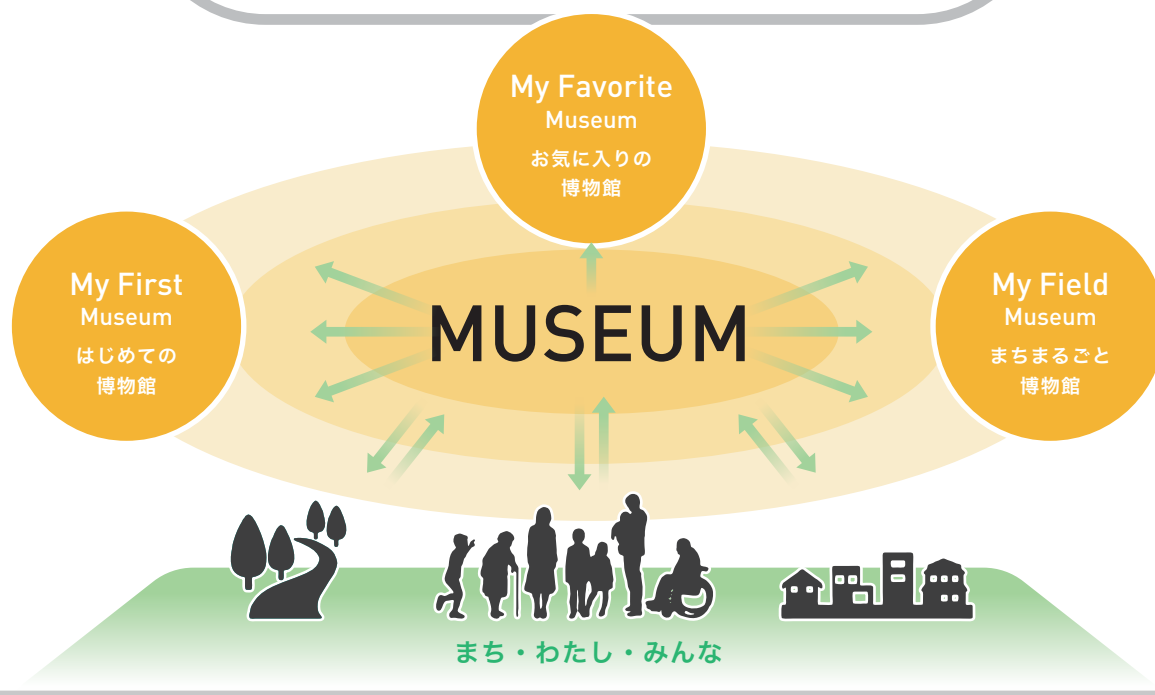
令和6年11月
東大阪市

第2章 基本コンセプト

■ 新博物館の基本理念

東大阪の“たからもの”を未来(Future)につなぐ
「まちの・わたしの博物館」

東大阪の歴史と文化を学び、
まちのみんなが主役となって育てていく博物館です。



利用者イメージ

地域に根ざした博物館として、多様な利用者が訪れ、活動できる施設をめざし、事業活動の整備・充実を図ります。
あわせて、**重点ターゲットを「子どもたち」と設定し**、子育て支援や学校教育と連携した日常の居場所・地域学習の拠点としての役割を重視した施設整備を行います。

博物館パートナー

新博物館では、博物館活動に関心を持つ多様な人々が、主体的に新博物館の活動に参画する仕組みをつくり、ひと・モノ・情報が集まる博物館としての特性を生かした多彩な協働活動を一体となってすすめながら、新博物館を育てていきます。

市 民

身近な学びや交流の場として

重点ターゲット

子どもたち

日常の居場所・
地域学習の拠点として

学校団体

市外観光客

東大阪の魅力発信
文化観光の拠点として

東大阪の“たからもの”を未来につなぐ
「まちの・わたしの博物館」

博物館パートナー

調査・研究
パートナー

対象
大学・研究機関・博物館

市民
パートナー

対象
市民

まちづくり
パートナー

対象
地域団体・企業

まちづくり・新たなコミュニティ形成
学びの環境創出・魅力づくり・観光

第3章 事業活動計画

展開する事業活動

収集・保存事業

まもり・うけつぐ

東大阪市所蔵の資料を適切に管理収蔵するとともに、歴史・文化や人々の営みを伝える東大阪ゆかりの資料を継続的に収集・保存し、「まちのたからもの」である博物館資料として継承します。

- 資料の収集

- 資料の整理・保存・管理

調査・研究事業

しらべる

資料の調査・研究を通して、東大阪の歴史・地域文化を知るとともに、その成果を展示や教育普及活動に活用することで、「みんなのたからもの」としての文化財の価値を広く発信します。

- 博物館資料の調査・研究

- 博物館パートナーとの連携調査活動

- 研究データベースの構築・公開

展示・公開事業

みせる・つかう

東大阪の風土が生んだ歴史・文化に触れることができるよう、豊富な資料を親しみやすい手法を用いた展示に活用することで、利用者自身が「わたしのたからもの」として感じ考えることのできる場を提供します。また、子どもファーストの一環として、未就学児でも安全に遊びながら学べる子ども展示や学校教育で活用できる展示環境を整えます。

- 常設展示の企画・実施

- 特別展示・企画展示の企画・実施

- 子どもたちに向けた展示活動の提供

- 東大阪のいまを発信する展示の推進

- デジタル博物館の公開

教育普及事業

まなぶ

体験活動やセミナーなどの積極的な実施を通して、利用者自身が文化財や歴史・文化への知見を「わたしたちのたからもの」として、愛着を持って深め、発信していける機会を提供します。また、未来の東大阪を担う子どもたちに向けて、学校教育との連携・支援を重視した活動や、協働・交流事業と連動した活動を提供します。

- 学校教育のニーズに応える活動の提供・支援

- 常設的な体験活動の提供

- 幅広い世代に向けた生涯学習支援

- フィールドワーク活動・アウトリーチ活動

- 主体的な学習研究環境の整備・レファレンスサポート

- 展示解説・補助ツールの開発

協働・交流事業

つながる

「まちのみんなが主役」となって成長していく博物館をめざし、博物館資源の最大限の活用と学芸員・職員のマネジメントのもと、市民をはじめとした多様なパートナーと連携・協働しながら、東大阪の魅力を高め地域の課題を解決する力を生み出す活動を行います。

- 調査・研究パートナーとの連携

- 市民パートナーとの連携

- まちづくりパートナーとの連携

- 東大阪市の他施設との連携

第4章 展示計画

■ 展示の基本構成

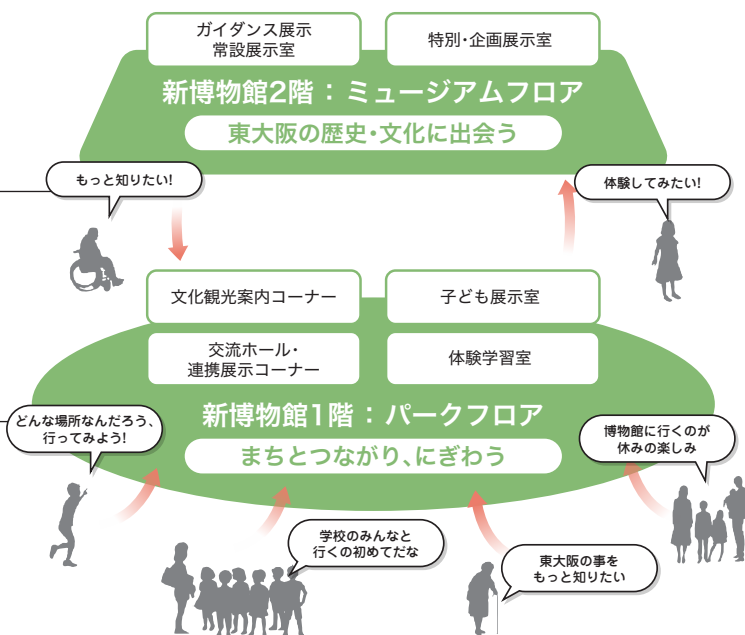
新博物館では、1階・2階の2フロアを、展示・公開エリアとして整備していきます。

2階【東大阪の歴史・文化に出会うミュージアムフロア】

東大阪市の歴史・文化・環境を紐解くメイン展示空間を整備し、地域への知識と関心を深めていける展示・公開活動を展開していきます。

1階【まちとつながり、にぎわうパークフロア】

協働・交流事業と連携した活動空間や子育て・ファミリー層が訪れやすい展示空間を整備し、幅広い利用者の来訪のきっかけとなる展示・公開活動を展開していきます。



1階 子ども展示室で提供する文化体験活動イメージ

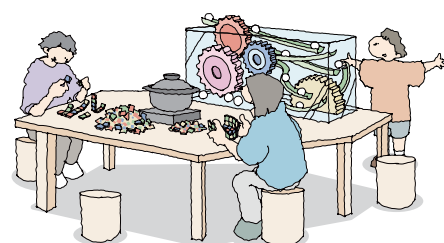
未就学児から小学校低学年を対象に、児童や親子連れで楽しみながら学べる展示スペース。遊びと学びが融合した展示空間で、博物館や地域文化を身近に感じてもらうこと、博物館という場への親しみをすることを目的とします。



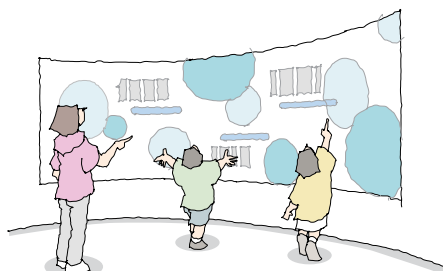
河内木綿などを着て撮影できるコーナーなど、地域の伝統産業や歴史を楽しむ体験



発掘プールなど、昔の生活や考古資料に親しむ体験



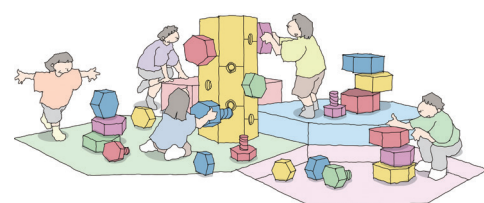
水車の仕組みをモチーフとしたボールコースターなど地域のモノづくりに気軽に触れられる体験



ビジュアルから関心を喚起する文化財デジタルコンテンツ



スケッチや拓本など、資料やレプリカに実際に触れ、観察する体験



東大阪発の玩具の活用やモノづくり企業や工場とコラボレーションして開発する遊具空間

東大阪市の「子どもファースト」の取り組みの一環として、未来を担う子どもたちの育成と、子育て世代が集える場づくりに向けた環境整備や体験の提供を行います。

2階

常設展示の構成

東大阪の風土や地域文化の成り立ち・暮らしの変遷を紐解くストーリーを、「自然と暮らし」「交流」「いのりのかたち」「モノづくり」をテーマに構成。東大阪の自然や歴史を今につながるものとして学び、市民が愛着を持って次世代に引き継ぐ場となる展示をめざします。

ガイダンス展示

東大阪の地形環境の変化と
歴史の変遷を把握する

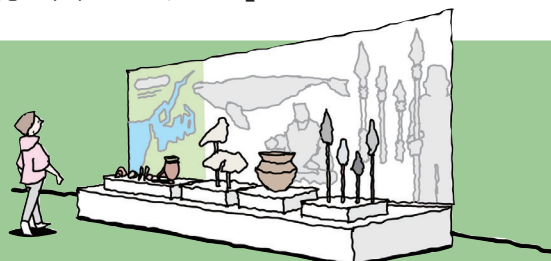


常設展示室

「東大阪の自然・地理・歴史的環境と人々の暮らし」

① 自然と暮らし

東大阪の豊かな自然と暮らしのかかわり、
時代ごとの生活の変化を知る



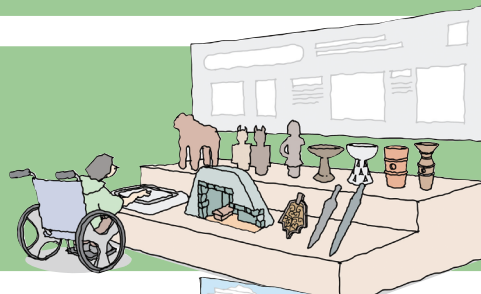
② 交流

海路や街道が通る交通の要所・東大阪で様々な
地域との交流から生まれた歴史・文化と人々の
暮らしのかかわりを知る



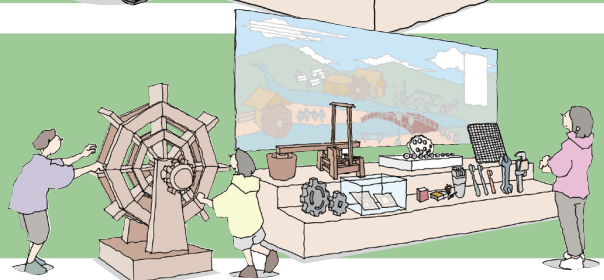
③ いのりのかたち

東大阪の葬送文化やまつり、信仰のかたちから、
人々の暮らしを知る



④ モノづくり

モノづくりのまち・東大阪の成り立ち、自然環境
と産業のつながりから人々の暮らしを知る

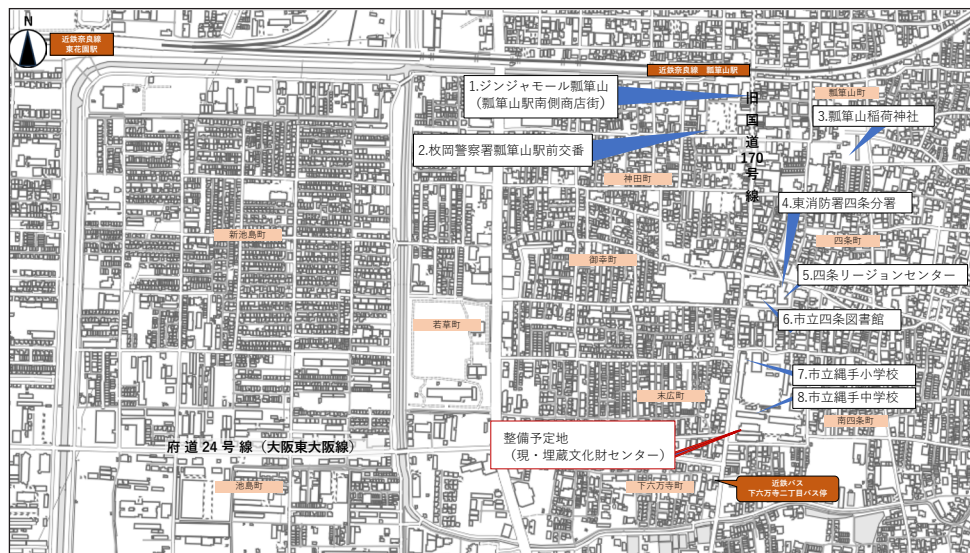


第5章 施設計画

■ 計画予定地の立地環境と施設規模

新博物館の整備予定地は、現在、埋蔵文化財センターが立地する東大阪市南四条町とします。整備については、埋蔵文化財センターを解体し、当該敷地への新築整備を行います。

敷地面積	2,464.7㎡
想定建築面積	約960㎡
想定延床面積	約2,700㎡
想定階数	地上3階
想定構造	鉄筋コンクリート造 または鉄骨造



■ 諸室配置案と動線

凡 例

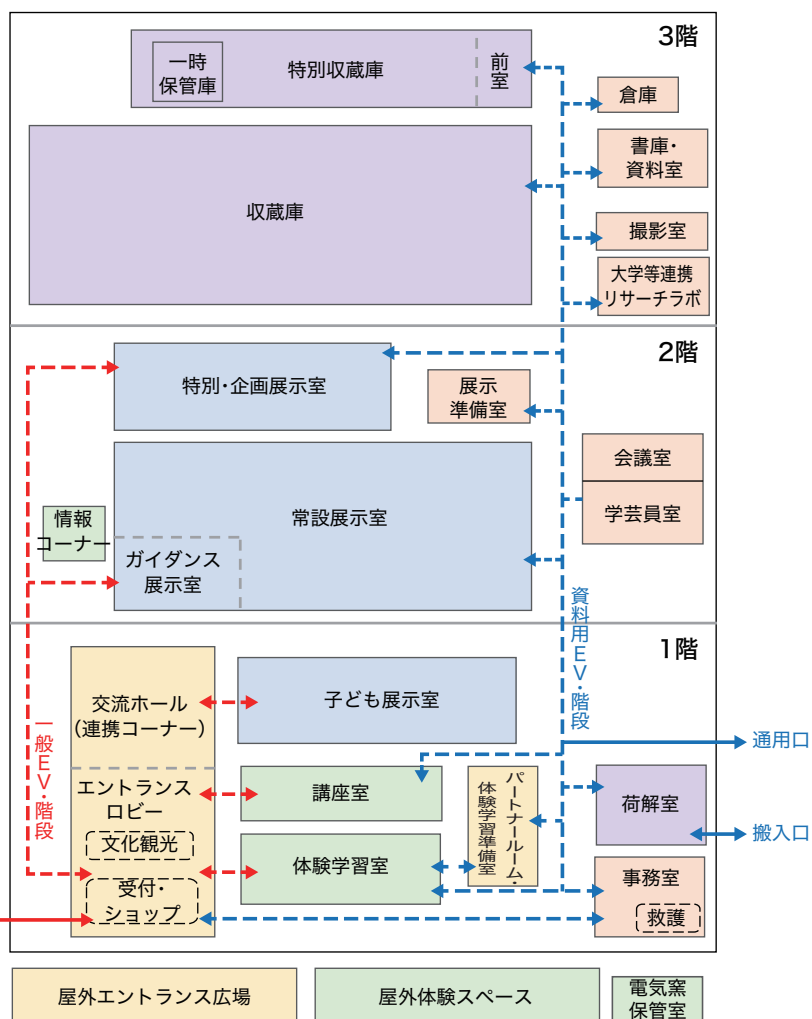
- 協働・交流エリア
- 展示・公開エリア
- 収集・保存エリア
- 調査・研究エリア
- 教育普及エリア

- 来館者動線
- 職員・資料動線

※WCなど共用部は本図には含まない

駐車スペース
・駐輪場
・車いす用駐車場1台
・一般駐車場10台
・大型バス臨時駐車場2台
・公用車用駐車場

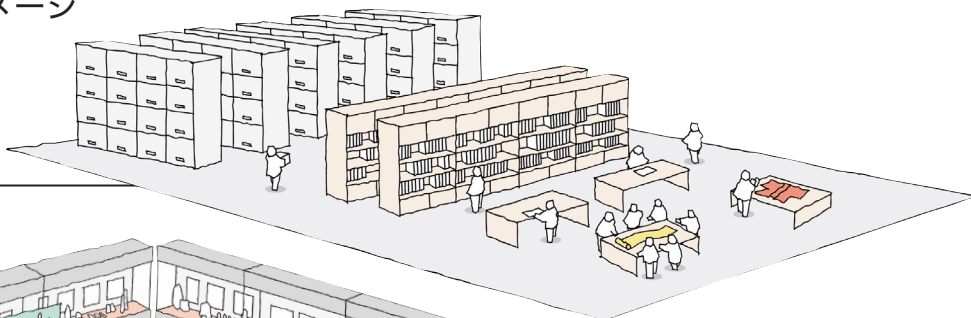
一般来館者
出入口



■ 新博物館のフロア別の活動イメージ

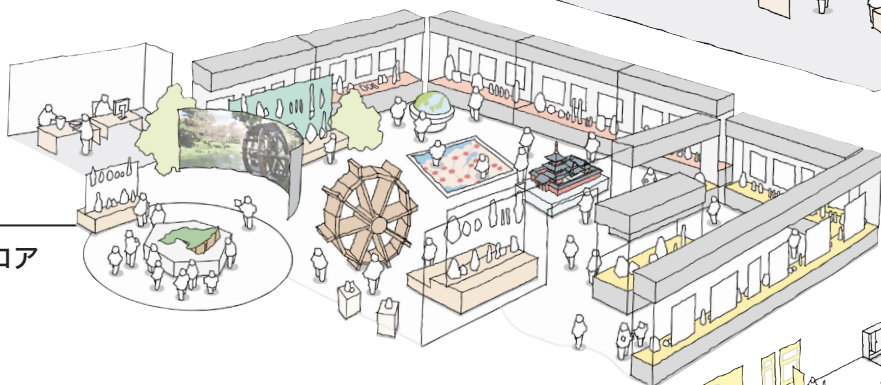
3階

収蔵・研究エリア



2階

ミュージアムフロア



1階

パークフロア



第6章 関連施設計画

郷土博物館の利活用方針(案)

新博物館の整備にともない、上四条町に所在する郷土博物館は休館中ですが、今後の利活用については、新博物館をはじめとする他の文化財施設との連携可能性を踏まえた活用方針を引き続き検討していきます。

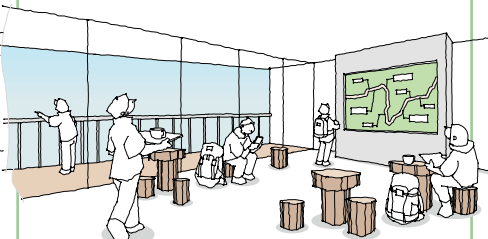
フィールドミュージアム展示機能

- 生駒山の自然と史跡をより楽しむための展示・公開
- 山畑古墳群関連資料展示
- 生駒山の動植物や自然観察情報の提供



休憩・周辺情報発信機能 (野外活動・観光サポート)

- 野外活動の休憩スペース整備
- ハイキングマップや瓢箪山駅周辺の観光情報
- 自動販売機などでの軽飲食の提供



埋蔵文化財等収蔵機能

- 収蔵スペースとして、1階と2階大展示室及び収蔵庫を活用



第7章 管理運営計画

管理運営の考え方

管理運営の考え方	① 訪れやすく使いやすい「まちの・わたしの博物館」となる管理運営 - ユニバーサルデザインに応じた施設づくりや補助ツールなどの環境整備 - 利用者の個別ニーズに応じる合理的配慮への取り組み - 多くの市民・利用者が利用しやすい開館形態(開館日時や利用料金等の設定) ② 多様な主体との連携による、効果的な事業活動の推進 - 協働・交流事業や博物館パートナーを主軸とした多様な主体との連携 - より多くのひとが博物館を効果的・主体的に利活用できるような広報の充実 ③ 文化財を継承する恒久的な施設として、効率的で持続的な運営体制づくり - 運営の合理化・効率化と、持続的かつ着実に事業を展開できる運営体制
管理運営に関する業務	① 総合案内・来館者サービス対応 ② 施設の維持管理・文化財IPM管理 ③ 広報・物販 ④ 情報公開・活動評価
運営方式	現時点で想定される全ての事業手法についてより詳細な調査を行い、施設整備・管理運営に最適な手法を検討。
運営体制	- 学芸部門 : 収集・保存/調査・研究/展示 - 企画運営部門 : 広報/交流・連携/教育普及 - 管理部門 : 施設管理/総務 ※登録博物館としての資格要件に適合するよう、館の使命や事業活動、所蔵資料に見合った専門性を持つ学芸員を配置。継続的な研修強化・人材育成を行う。

整備スケジュール

	実施計画	実施内容
令和5年度～6年度	東 大 阪 市 立 新博物館整備基本計画	- 新博物館整備に向けた、基本的な考え方の検討 ※基本理念、事業活動の方針や求められる施設条件、機能の検討
令和7年度	埋 蔵 文 化 財 セ ン タ ー 解 体 工 事	予定地に立地する埋蔵文化財センターの解体
令和7年度	導 入 可 能 性 調 査	- 事業条件(事業範囲、事業期間、費用負担、資金調達等)の整理や、事業方式・スキームの比較検討(従来手法、PFI、その他民活手法)、民間事業者ヒアリング(事業参画意欲、事業内容等への意見、課題認識等)等を行う。 ※民間活力を導入する場合、要求水準書を作成する。
令和8年度	発 掘 調 査 (最長12か月)	解体工事後、埋蔵文化財の発掘調査を行う。
令和9年度以降	建 築 設 計・展 示 設 計 (最長18か月)	- 建築工事及び設備工事に関わる設計 - 施設内装工事及び展示工事に関わる設計
	建 築 工 事・展 示 工 事 (最長24か月)	- 建築工事及び設備工事 - 施設内装工事及び展示工事
令和13年度	開館予定(枯らし期間を含む)	

※事業手法等によっては、実施時期が変動する場合があります。

発 行 : 東大阪市

〒577-8521 東大阪市荒本北一丁目1番1号

電 話 : 06-4309-3000(代表)